

「(仮称) 新すまいる子どもプラン」について
～ 成果指標に対する目標達成状況の分析 ～

すまいる子どもプランにおける新規・拡充事業及び継続事業を実施して、本計画の目的である「子どもを生み育てることが幸せと感じられ、子どもの笑顔があふれるまち」の達成度を計るために設定した成果指標の目標達成状況の分析は、次表のとおりです。

成果指標	H21 年度 調査時	目標値	H25 年度 調査時	目標 達成状況																												
1 合計特殊出生率	1.46	1.51	1.54	達成																												
<p>合計特殊出生率は、平成 19 年に 1.37 まで減少しましたが、その後増加傾向にあり、平成 24 年には 1.54 となっています。また、全国や新潟県に比べやや高くなっています。</p> <p>平成 23 年、平成 24 年と 2 年連続して改善しているとも受け取れますが、希望出生率である 1.8 には及ばない状況です。</p> <p>※「希望出生率」とは、子どもを産み育てたい人の希望が叶った場合の出生率（「ストップ少子化・地方元気戦略」日本創成会議）</p>																																
2 子育てに不安感を感じている人の割合	63.7%	50%	70.5%	未達成																												
<p>【子育ての不安や悩みの内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>就学前 (n=458)</th> <th>小学生 (n=427)</th> <th>中学生 (n=220)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どものこと</td> <td>74.0%</td> <td>72.6%</td> <td>71.8%</td> </tr> <tr> <td>自分のこと</td> <td>81.9%</td> <td>67.2%</td> <td>54.1%</td> </tr> <tr> <td>家庭のこと</td> <td>66.6%</td> <td>68.4%</td> <td>65.9%</td> </tr> <tr> <td>地域のこと</td> <td>37.6%</td> <td>28.6%</td> <td>21.8%</td> </tr> <tr> <td>子育て環境</td> <td>59.2%</td> <td>64.2%</td> <td>49.5%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.2%</td> <td>0.0%</td> <td>0.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「n」は回答者総数</p> <p>アンケートの結果から、子育ての不安や悩みのうち、子どものしつけ方や子育てに自信のもてない等の育児不安を抱えている就学前児童の保護者が 8 割を超えていることがうかがえます。</p> <p>また、就学前児童のアンケート回答者の 9 割弱が母親であることから、子育てに対する不安や悩みを抱え孤独な子育てにならないように支援していく必要があると考えられます。</p> <p>《主な不安や悩みについて》</p> <p>子どものこと：子どもの育ち【就学前、小学生、中学生】</p> <p>自分のこと：しつけがうまくいかない【就学前、小学生、中学生】</p> <p>家庭のこと：経済的な不安【就学前、小学生、中学生】</p> <p>地域のこと：親自身が友達をつくれる場や機会がない【就学前】</p> <p>子育て環境：安心して子どもを遊ばせることのできる場所がない【就学前、小学生】</p> <p>暗い通りや見通しのきかないところが多い【中学生】</p>						就学前 (n=458)	小学生 (n=427)	中学生 (n=220)	子どものこと	74.0%	72.6%	71.8%	自分のこと	81.9%	67.2%	54.1%	家庭のこと	66.6%	68.4%	65.9%	地域のこと	37.6%	28.6%	21.8%	子育て環境	59.2%	64.2%	49.5%	無回答	0.2%	0.0%	0.5%
	就学前 (n=458)	小学生 (n=427)	中学生 (n=220)																													
子どものこと	74.0%	72.6%	71.8%																													
自分のこと	81.9%	67.2%	54.1%																													
家庭のこと	66.6%	68.4%	65.9%																													
地域のこと	37.6%	28.6%	21.8%																													
子育て環境	59.2%	64.2%	49.5%																													
無回答	0.2%	0.0%	0.5%																													
3 子育てについて気軽に相談できる人がいる割合 (市の相談機関も含む)	84.7%	95%	87.3%	未達成																												
<p>アンケートの結果から、子育て家庭の多くが子育ての不安や悩みを抱えていますが、気軽に相談できる人がいる割合は増えています。</p> <p>しかし、2 割程度の方は気軽に相談できる人いないことなどから、相談事業の更なる充実や問題解決への支援などが必要であると考えられます。</p>																																

成果指標	H21年度 調査時	目標値	H25年度 調査時	目標 達成状況
4 子育てを負担と感じている人の割合	35.7%	25%	38.4%	未達成
<p>就学前のアンケート回答者の9割弱が母親であることから、主な負担の「子育てによる心身の疲れが大きいこと」は、日常における家事や子育てが母親一人に偏り、父親が家事や子どもと過ごす時間が少ないことなどが要因として考えられます。</p> <p>《主な負担について》</p> <p>子育てによる心身の疲れが大きいこと【就学前】</p> <p>子育てで出費がかさむこと【小学生、中学生】</p>				
5 子育てに幸せを感じている人の割合	97.7%	99%	92%	未達成
<p>子育てに不安感を感じている人の割合や子育てを負担と感じている人の割合が改善されていない中で、子育てに幸せを感じている人の割合は比較的高い水準を維持しています。</p>				
6 父親が育児をしていると思う人の割合	79.3%	90%	72.8%	未達成
<p>女性の社会進出が進み共稼ぎの家庭が増え、育児を積極的に率先して行う男性、また育児を楽しんで行う男性を意味する「イクメン」が流行り報道等されてきましたが、必ずしも「イクメン」の増加、父親の育児参加の促進にはつながってはいない結果となっています。</p>				
7 子育てと仕事が両立できていると思う人の割合	67.8%	80%	60.4%	未達成
<p>女性の社会進出が進み共稼ぎの家庭が増えてきている現状に対して、3歳未満児の保育、休日保育、病児・病後児保育などの多様な保育ニーズに対応しきれていない状況が、子育てと仕事の両立ができていない要因として考えられます。</p> <p>また、保育の問題だけではなく、父親の育児参加が進んでいないことなども、子育てと仕事の両立ができていない要因の一つとして考えられます。</p>				
8 保育（学童保育含む）サービスが充実していると思う人の割合	57.7%	70%	32.4%	未達成
<p>保育サービスについては、多様な保育に対応するため、乳児保育、一時預かり、児童クラブの拡充等を行ってきましたが、3歳未満児の保育、休日保育、病児・病後児保育などの様々な保育ニーズに対応しきれていない状況が、厳しい結果の主な要因として考えられます。</p> <p>また、保育所などにかかる費用の負担増も厳しい結果となった要因の一つとして考えられます。</p>				
9 およそ3年前と比べて三条市が子育てしやすいまちになったと思う人の割合	52.3%	70%	47.9%	未達成
<p>アンケートの結果から、保育所や幼稚園にかかる費用の軽減や医療費助成の拡充などの経済的負担の軽減、安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備、安心して子どもが遊べる場所や子連れでも出かけやすく楽しめる場所の整備など、全ての地区において子育てしやすい環境づくりをより一層進めることが期待されています。</p>				
10 三条市の子どもが生き生きしていると思う割合	66.8%	80%	62.4%	未達成
<p>子どもたちが安全に遊べる公園等が少ないことや子どもたちが家の中でのゲームばかりで、外で遊ぶ姿が見られないこと、元気よく挨拶する子どもたちが少ないことなどが、子どもが生き生きしていると思う割合が減少した要因として考えられます。</p>				